

指定管理者制度導入施設の第三者評価結果【対象年度:令和6年度】

1 評価対象施設

施設名	長野県烏川溪谷緑地	所管部・課	建設部都市・まちづくり課(安曇野建設事務所)
指定管理者	一般財団法人 公園財団	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日

2 評価者(敬称略,五十音順)

評価者名	役職等	備考
篠崎 友宏	公認会計士	専門家
山本 綾子	社会保険労務士	専門家
上田 哲弘	長野国道事務所公園課長	指定管理者選定会議構成員
岩垂 彰	烏川溪谷緑地市民会議座長	利用者代表
山田 四七夫	安曇野市都市計画課長	市町村等代表

3 評価の実施状況

年月日	場所	内容
令和7年11月4日	烏川溪谷緑地環境管理事務所	令和6年度の管理運営状況及び県のモニタリング状況について

4 評価結果

※項目は施設の状況等に応じ加除修正してください。

項目	指摘・意見等	左記への対応方針
施設の目的に沿った管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ○協定書、事業計画書に基づき、施設の目的に沿った管理運営がされている。 ○コロナ禍以降、学校団体利用がやや減少傾向にあるとのことであったが、より幅広い層を対象を広げる、隣接する国営公園との連携を図るなどにより、教育目的での利用促進が図られるとより望ましい。 ○図鑑やガイドブックに無い内容を入れており、評価できる。 ○スタッフが持ち寄った季節の生け花装飾によるトイレの美化活動や月1回程度のスタッフによる学習会の実施など、とても良い取組である。 ○指定管理者、県の実務担当者による軽めの打ち合わせを実施してみてはどうか。それぞれの近況を報告し、協力できることは協力して一体で魅力を伸ばしていくことができると良い。 ○手間のかかる施設の維持管理に即時に対応するようにしている。今後も続けてほしい。 ○課題として、学校教育カリキュラムに公園を活用してもらうようにするにはどうすればよいか検討してほしい。 ○残すべき大切な樹木や植物が存在する中で、適切な除草等の管理がされている。 ○公園の性質上、バリアフリー化が困難であるが、必要な対応をしている。 ○昆虫採集や火気の使用などの禁止行為に対し、利用者に対し親切で丁寧な案内をすることで、心地よく利用できるよう配慮している。 ○職員の自然環境及び動植物の専門性が高い。 ○園路沿いの見通しの確保が不十分な箇所がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○協定書、事業計画書に基づき、施設の目的に沿った管理運営を引き続き実施します。(指定管理者) ○国営公園と更なる連携強化を図り、情報共有等により利用促進に努めます。(県、指定管理者) ○引き続きセルフガイドツール等の充実を図り、利用満足度の高いサービスの提供を行います。(指定管理者) ○トイレ美化活動を継続して実施します。(指定管理者) ○指定管理者と県、国営公園管理者の定期打ち合わせのほか随時情報提供、情報共有を行っており、更なる協力関係の構築により魅力づくり、情報発信を行います。(県、指定管理者) ○良好な施設の維持管理に継続して取り組みます。(県、指定管理者) ○学校団体利用促進に向け、近隣自治体の教育委員会への働きかけ等を検討します。(指定管理者) ○適切な植生管理、植物管理を継続して実施します。(指定管理者) ○誰もが安心・安全に利用可能な環境づくりに継続して取り組みます。(指定管理者) ○職員の自然環境及び動植物の専門性を維持するため職員間の情報共有、スキルアップのための学習会を継続して実施します。(指定管理者) ○園路沿いの見通しについては安全の確保、景観への配慮等考慮しながら対応を行います。(指定管理者)
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○SNSの活用に力を入れている。今後も工夫して継続してほしい。 ○利用者に対し、丁寧な接遇・言葉遣いを心掛けている。教育・研修がしっかり身につけていて良い。 ○「モバイル意見箱」はとても有効な手段だと思うが、より幅広く意見を集めるのであれば、紙ベースのアンケートも実施すべき。 ○Xを利用して季節の情報をリアルタイムで発信している。 ○学習施設利用の対応のマニュアル化が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後もSNSを活用し、季節の情報をリアルタイムで発信していきます。(指定管理者) ○今後も利用者への丁寧な接遇・言葉遣いを心掛けて取り組みます。(指定管理者) ○「モバイル意見箱」に加え、紙ベースでのご意見収集の取組について検討します。(指定管理者) ○学習施設貸出しのルールづくり、マニュアルづくりについては県と調整を図りながら整備します。(県、指定管理者)

(様式3)

利用者サービス向上の取組	<p>○複数のSNS利用やHPとの連携などが図られるとよりよい広報や広い認知につなげられるのではないかと。 ○憩いの場・学びの場として情報発信をさらにして欲しい。 ○トイレ清掃に力を入れている。生け花を飾るなど小さな気遣いが素晴らしい。 ○幅広いニーズに対応したイベントを多く行っている。 ○骨の企画展やカワネズミのイベントなど、魅力的なものが多いので、隣接する国営公園との共有はもちろんのこと、近隣自治体や観光施設を巻き込んで広報を進めていけると良い。 ○公式ホームページやSNS及びプレスリリースにより、きめ細かい情報提供を行っている。 ○個性的なイベントの開催が参加者に喜ばれており、講演者からの評判も良い。 ○以前に親子ざると遭遇し、道を引き返したこともあるため、アンケート結果に記載されていた「サルと遭遇した際の対応」については、看板等での周知を検討してほしい。 ○様々なイベントが開催されていてとても良い。(定期的に多すぎる時もある) ○繁忙期の駐車場の確保が課題。 ○駐車場が満車時の案内にさらなる工夫が必要。</p>	<p>○複数のSNS利用や関係機関HPとの連携を通じ、憩いの場・学びの場としてきめ細かな情報発信に努めます。(指定管理者) ○トイレ清掃、トイレ美化に引き続き取り組みます。(指定管理者) ○緑地の環境を活かした個性的な行催事等を近隣自治体や観光施設と連携して取り組むことで更なる魅力発信に努めます。(指定管理者) ○イベント開催については、適切な時期、実施回数を検討し実施します。(指定管理者) ○大型野生動物対策は、園内情報施設及び看板等を随時更新し周知を図ります。(指定管理者) ○限られたキャパシティでの駐車場運用であるため、対応策については県と情報共有しながら適正な利用環境維持に努めます。(指定管理者) ○新たな駐車スペースの確保について検討していきます。(県)</p>
自主事業	<p>○様々な制約のなかで工夫して実施されている。SNSの利用促進とあわせてより広く認知アピールされるとよいのではないかと。なお、自主事業における収支黒字は全体収支の改善にもつながるため、より積極的に検討されるのではないかと。 ○可能な範囲で積極的にグッズ販売を行っているとのこと、とても良い取組だと思う。 ○新たなグッズや記念品が開発できると良い。 ○記念品を買い求める来園者が増えてきていて良い。 ○熱中症対策について、工夫して取り組んでいる。 ○熱中症対策としての自動販売機の設置により、利用者の要望に応えている。</p>	<p>○SNSの活用により取組内容を広くアピールし、利用促進に努めます。(指定管理者) ○自主事業の積極的な取組により、全体収支の改善につなげられるよう検討し実施していきます。(指定管理者) ○来園者にとって魅力ある記念品、新たなグッズの開発に取り組みます。(指定管理者) ○今後も自動販売機ベンディング会社と相談しながら販売品目を調整し、利用者ニーズに対応していきます。(指定管理者)</p>
職員・管理体制	<p>○協定書、事業計画書等に基づき、職員配置や施設点検などの管理を実施しており、良好である。 ○昨年度大幅な収支赤字であるところ、人件費は総収入の約2/3を占めることから、収支計画を見直す一環として、人員体制や規模が適切かを長期的視点をもって検討する余地があるのではないかと。 ○必要な知識と技術を持つ、経験豊富な職員が配置されている。 ○予算の都合もあるかと思うが、あれだけのエリアを7名の職員で管理するのは難しい。 ○今後、知識や経験の伝承が重要な課題だと感じた。 ○アンケート結果からも、スタッフの対応は「とても良い」と「良い」が93%と、高い水準であることから良好な状況と判断できる。 ○報連相・情報共有の徹底が必要。 ○退職者の補充対応が必要。 ○烏川溪谷緑地の管理には、専門的な知識や経験が必要であり、その技術を次の世代に引き継いでいく必要性を感じた。</p>	<p>○協定書、事業計画書等に基づき、職員配置や施設点検など、良好な運営維持管理を引き続き実施します。(指定管理者) ○人員体制、予算の適正化については県と協議しながら検討し取り組みます。(指定管理者) ○引き続き利用者からの高評価が得られるよう、スタッフのサービス接遇対応力の強化に取り組みます。 ○県ならびにスタッフ間の情報共有の徹底により良好な職場環境整備に努めます。(指定管理者) ○退職者の補充対応については、退職者の復職に向けた支援に加え、県と協議しながら検討し取り組みます。(指定管理者) ○烏川溪谷緑地の管理には、専門的な知識や経験、技術が引き継がれるよう、運営維持管理に関するマニュアルの整備、データ化による継承を検討します。(指定管理者)</p>
収支状況	<p>○昨年度は自主事業を除いた収支が赤字となっており、指定管理者の独自財源を充てることにより収支均等になるよう調整されている。これより以前の年度から、あるいは将来計画においても収支赤字の状況であるならばそれは持続可能性の観点から望ましいとはいえず、収入もしくは支出の規模及び内容について将来的に見直す余地があるのではないかと。 ○草刈りや伐採が予定数量では収まらないとのこと、その分予算的に厳しくなっている。 ○公園内や隣接する樹木の倒木や落枝などへの対応により、多くの管理経費が必要となっている。 ○指定管理料の中で運営できている。 ○施設の老朽化が進む中で、適切な管理運営ができていない。 ○物価・人件費高騰の折、様々な工夫をされている。 ○限りある財源の中でサービスが低下しないように努力している。</p>	<p>○職員が経験を積むことができ、環境について学べる公園であるため、赤字部分の人件費について独自財源を充てることは、人材育成への投資として考えていますが、事業収支状況を県と情報共有し、必要に応じ協議、検討します。(指定管理者) ○人件費については「指定管理者制度における賃金スライド制度」を活用し、賃金上昇に対応していきます。また、効果的、効率的な運営維持管理ができるように指定管理者と協議していきます。(県) ○公園緑地の適正な維持管理に向け、県と情報共有、協議、検討します。(指定管理者) ○台風・積雪等による倒木など、気象原因等により通常管理を超える伐採については県が対応をします。(県) ○引き続き施設の老朽化対策について、県と情報共有し、協議、検討しながら適切な管理運営に取り組みます。(指定管理者) ○令和7年度から、公園施設の長寿命化対策の見直しをしており、施設再編を含め、適切な施設更新に努めます。(県) ○効果的、効率的な運営維持管理により、サービスが低下しないよう引き続き取り組みます。(指定管理者)</p>

(様式3)

労働条件	<p>○規程、雇用関係書類、社会保険関係については問題ない。 ○就業規則等に基づき、適正に雇用がされている。また、雇用相談窓口も設置している。 ○屋外での作業が多いと思われるので体調管理を徹底してほしい。 ○職員間のコミュニケーションの確保が必要。 ○ケガ・虫刺され等の危機管理の更なる徹底が必要。</p>	<p>○規程、雇用関係書類、社会保険関係について引き続き適正に取り組みます。(指定管理者) ○適正な雇用の取組を継続して実施します。(指定管理者) ○体調管理、ケガや虫刺され等の発生防止に向けて安全衛生委員会及び朝礼等を通じ、引き続き安全衛生管理を徹底して取り組みます。(指定管理者) ○スタッフ間の情報共有の徹底により、良好な職場環境整備に努めます。(指定管理者)</p>
モニタリングの実施状況	<p>○チラシ・パンフレットを見てくる人が少ないとのことなので、チラシやパンフレットの配布場所等の検討が必要。 ○通りがかりで知った方が多い一方、チラシや、パンフレットで知った方の割合が少ないため、広報のやり方を工夫してみてもよいのではないか。 ○アンケート結果から ①また来てみたいと答えたのは、ほぼ100%であり公園の満足度は高い水準である。 ②施設や設備の使いやすさが「良い」と「とても良い」が、96%と高く、トイレなどの清掃状況も「良い」と「とても良い」が70%と高い水準である。 ○利用・イベント参加者の意見を集約できている。 ○良い意見だけでなく苦情等の集約が必要。</p>	<p>○限られたスタッフ体制の中で、より効果的な配布場所、広報手段等を検討していきます。(指定管理者) ○今後も、施設設備管理、トイレ清掃など引き続き高い水準での維持管理に努め、利用満足度の維持向上を目指します。(指定管理者) ○今後も緑地利用者、イベント参加者の意見を取り入れながら良好な利用環境の維持管理に努めます。(指定管理者) ○苦情についても集約を行っており、利用者の意見を取り入れながら良好な利用環境の維持管理に努めていきます。(指定管理者)</p>
総合評価	<p>○日常の業務運営については協定書、仕様書、計画書に基づき適切に運営されている。 ○地域の豊かな自然環境について学ぶ機会を創出し、環境保全や環境保護の取組の重要性や野生生物とのかかわり方など、烏川溪谷緑地ならではの魅力が多く、素晴らしい運営管理がされている。 ○利用者アンケートからも、良い意見が多く、十分な管理が行われている。</p>	<p>○地域の豊かな自然環境について学ぶ機会を創出し、環境保全や環境保護の取組の重要性や野生生物とのかかわり方など、烏川溪谷緑地ならではの魅力を発信し、利用者満足度の高い運営・維持管理に努めていきます。(指定管理者)</p>